



roundabout™

インストール手順書

ver. 1.0.3
2009/02/18

目次

第 1 章	インストール手順	3
1-1	Apacheのインストール	3
1-2	ImageMagickのインストール	4
(1)	ライブラリのインストール	4
(2)	ImageMagickのインストール(RPM)	4
(3)	ImageMagickのインストール(ソース)	5
1-3	roundaboutのインストール	6
1-4	Apacheのhttpd.confを編集	9
1-5	Apacheを起動	9
1-6	チュートリアルをDocumentRootに配置	9
第 2 章	動作確認	10
2-1	roundabout.confの編集	11
2-2	roundabout-vhost.confを編集	13

第1章 インストール手順

このインストール手順書では、以下のディレクトリにインストールする例を記載しています。

- Apache: /usr/local/apache2
- ImageMagick: /usr

上記以外にインストールをする場合は、p.11以降の設定ファイルの編集が必要になります。

※SELinuxが有効な場合、無効化するかSELinuxの適切な設定が必要です。

※以下の作業はサーバー上でroot権限で行ってください。

※評価版を既にインストールされている場合、トラブル防止のため全てアンインストールしてからインストールを行ってください。

1-1 Apacheのインストール

Apache 2.0系もしくはApache 2.2系をインストールします。

ソースからビルドする際、configureオプションには `--enable-so` を必ず指定します。

configureオプション例:

```
./configure --enable-so --prefix=/usr/local/apache2
```

※ラウンドアバウトはpreforkモードでのみ動作します。

※ソフトバンクで「PNZ・JPZ」等の拡張子をご利用になる場合は、mime.typesファイルに以下の設定がされていることをご確認ください。

設定例:

```
image/jpeg jpeg jpg jpe jpz
```

```
image/png png pnz
```

1-2 ImageMagickのインストール

(1) ライブラリのインストール

ImageMagickの動作には下記ライブラリが必要になります。

- libpng: 1.2.7 以降
- libjpeg: 6b-33 以降

既にrpmでライブラリがインストールされているか確認します。

確認例:

```
# rpm -qa | grep libpng
# rpm -qa | grep libjpeg
```

確認の結果、ライブラリがインストールされていない場合は先にインストールを行います。

RPM対応のプラットフォームでは、必要に応じ、同梱されたRPMをご利用いただくことでライブラリのインストールが完了します。

インストールコマンド例:

```
# rpm -ivh rpms/libjpeg-6b-33.i386.rpm
# rpm -ivh rpms/libpng-1.2.29-1.i386.rpm
```

※64bit版をインストールする場合はlibjpeg-6b-33.x86_64.rpm、libpng-1.2.29-1.x86_64.rpmになります。

※rpmでインストールが出来ない場合は、Linuxのインストールディスクからインストールを行ってください。

(2) ImageMagickのインストール(RPM)

RPM対応プラットフォームでは、同梱したRPMによりImageMagickをインストールします。ソースビルドによるインストールを行う場合は、次の手順に進みます。

1. 既にImageMagickがRPMでインストールされている場合、削除します。

確認例:

```
# rpm -qa | grep ImageMagick
```

削除例:

```
# rpm -e `rpm -qa | grep ImageMagick`
```

2. RPMによりImageMagick 6.3.9-10をインストールします。

インストールコマンド例:

```
# rpm -ivh rpms/ImageMagick-6.3.9-10.roundabout.i386.rpm
```

※64bit版をインストールする場合はImageMagick-6.3.9-10.roundabout.x86_64.rpmになります。

※環境によってはrpmでインストールを行うと正常動作しない場合がございます。その場合は、ソースからビルドしてインストールしてください。

(3) ImageMagickのインストール(ソース)

ImageMagickをソースからビルドしてインストールします。RPMによるインストールが完了している場合は、この手順をスキップします。

1. 既にImageMagickがRPMでインストールされている場合、削除します。

確認例:

```
# rpm -qa | grep ImageMagick
```

削除例:

```
# rpm -e `rpm -qa | grep ImageMagick`
```

2. 同梱されたRPMライブラリをインストールした場合は、全て(libjpegおよびlibpng)をアンインストールします。

確認例:

```
# rpm -qa | grep libjpeg
```

```
# rpm -qa | grep libpng
```

削除例:

```
# rpm -e `rpm -qa | grep libjpeg`
```

```
# rpm -e `rpm -qa | grep libpng`
```

3. 下記ライブラリをLinuxのインストールディスクよりインストールします。

- libjpeg: 6b-33 以降

- libpng: 1.2.7 以降
- libjpeg-devel: 6b-33 以降
- libpng-devel: 1.2.7 以降

※libjpeg-develはインストールしたlibjpegと同じバージョンをインストールしてください。

※libpng-develはインストールしたlibpngと同じバージョンをインストールしてください。

4. ImageMagickのソースをダウンロードします。

ImageMagickダウンロードURL: <http://www.imagemagick.org/script/download.php>

※ImageMagick 6.3.9-10はミラーサイトのlegacyディレクトリ以下にあります。

5. ソースアーカイブを任意のディレクトリで解凍します。

解凍例:

```
# cd /usr/local/src
# tar -zxvf ImageMagick-6.3.9-10.tar.gz
```

6. ソースビルドを行います。

ビルド例:

```
# cd /usr/local/src/ImageMagick
# ./configure --prefix=/usr/local/ImageMagick --without-magick-plus-plus --without-bzlib
--without-dps --without-fpx --without-gslib --without-jbig --without-tiff --without-wmf
--without-fontconfig --without-freetype --without-lcms --without-gvc --without-openexr
--without-rsvg --without-xml --with-perl=no --with-x=no
```

※ ImageMagickをソースからビルドしてインストールする場合、ImageMagickHomeの設定変更が必要になります。p.11.以降の設定ファイルに関する説明を参照ください。

1-3 roundaboutのインストール

1. roundabout のインストールを行う前に Apache が停止していることを確認します。
2. 以下の 3 つのファイルを /usr/local/apache2/modules/以下にコピーします。
 - product/modules/apache-2.0/mod_ralc.so ...言語変換モジュール

- product/modules/ apache-2.0/mod_raic.so ...画像変換モジュール
- product/modules/ apache-2.0/libcss_parser.so ...CSS パーサー

※ Apache2.2.X系の場合はproduct/modules/apache-2.2/以下となります。

※ Apacheと同じユーザー及び権限を設定してください。

コピー例:

```
#cp -p product/modules/apache-2.0/* /usr/local/apache2/modules
```

3. 以下の3つのファイルを/usr/local/apache2/conf/roundabout/以下にコピーします。

- product/conf/roundabout/roundabout.conf ...ラウンドアバウト設定ファイル
- product/conf/roundabout/roundabout-vhost.conf ...ラウンドアバウト設定ファイル
- product/conf/roundabout/terminfo-headers.conf ...端末情報ヘッダ

コピー例:

```
# cp -pR product/conf/roundabout/ /usr/local/apache2/conf/
```

4. product/var/roundabout.tgz ファイルを/var/以下に展開します。

展開例:

```
# tar -C /var -zxvf product/var/roundabout.tgz
```

展開後、下記のディレクトリとファイルが配置されていることを確認します。

- /var/roundabout/cache ...キャッシュディレクトリ(ディレクトリのみ)
- /var/roundabout/conf/conversion.csv ...変換シート
 - /device-group.conf ...端末グループ設定ファイル
 - /glyph-conversion.csv ...絵文字変換シート
 - /unsupport.csv ...非対応端末設定ファイル
- /var/roundabout/glyph/au ...au 絵文字画像

/docomo ...dococomo絵文字画像
/softbank ...SoftBank絵文字画像

- /var/roundabout/logs ...ログディレクトリ(ディレクトリのみ)
- /var/roundabout/work ...作業ディレクトリ(ディレクトリのみ)

※ 各種インストールを手順書で指定された場所以外に配置した場合は設定ファイルの編集が必要です。

p.11以降の設定ファイルに関する説明を参照ください。

5. ライセンスファイルをコピーします

CD-ROM に同梱されている roundabout_web_edition_licenses/roundabout.lic を
/var/roundabout/conf/以下にコピーします。

コピー例:

```
cp roundabout_web_edition_licenses/roundabout.lic /var/roundabout/conf/
```

※ 開発テスト版の場合は roundabout_develop_edition_licenses/roundabout.lic をコピーします。

6. 端末情報ファイルをコピーします

CD-ROM に同梱されている roundabout_web_edition_licenses/terminfo.csv を
var/roundabout/conf/以下にコピーします。

コピー例:

```
cp roundabout_web_edition_licenses/terminfo.csv /var/roundabout/conf/
```

※ 開発テスト版の場合は roundabout_develop_edition_licenses/terminfo.csv をコピーします。

1-4 Apacheのhttpd.confを編集

1. ラウンドアバウト設定ファイル 2 つを include します。

```
Include conf/roundabout/roundabout.conf
```

```
Include conf/roundabout/roundabout-vhost.conf
```

※roundabout.confをroundabout-vhost.confより先に読み込まれるようにしてください。

※roundabout.confはVirtualHost内ではIncludeできません。

1-5 Apacheを起動

1. configtest を行います。

確認例:

```
# /usr/local/apache2/bin/apachectl configtest
```

2. Syntax OK を確認します。

3. Apache を起動します。

起動例:

```
# /usr/local/apache2/bin/apachectl start
```

※ラウンドアバウトのモジュール新規追加時、更新時はrestartでの再起動は行わないでください。

1-6 チュートリアルをDocumentRootに配置

1. tutorialディレクトリをDocumentRootに配置します。

コピー例:

```
# cp -pR tutorial/ /usr/local/apache2/htdocs/
```

※例はhtdocsをDocumentRootとした場合の記述です。

第2章 動作確認

- ・Apacheのerror_logにnoticeレベルで下記ログが表示されることによりモジュールの読み込みは正しく行われたことが確認できます。

[notice] Apache/2.0.63 (Unix) mod_ralc/1.0.2 mod_raic/1.0.2 configured -- resuming normal operations

※Apache、mod_ralc、mod_raicのバージョンはインストールしたバージョンにより異なります。上記のログはApache2.0.63でラウンドアウト1.0.2をインストールした場合です。

※ログが表示されない場合、動作確認のためhttpd.confのServerTokensディレクティブを一時的にコメントアウトしてください。

第1章の1-6で配置したチュートリアルコンテンツ内に動作確認ページを用意しています。FireFoxのプラグイン「UserAgentSwitcher」などを利用してUserAgentを変更し、<http://yourhost/tutorial/index.html>から動作確認画面にアクセスしてみましょう。ラウンドアウトのロゴが正しく表示され、アクセス端末のグループ名と画像が表示されれば動作確認完了です。

インストールについてのお問い合わせはsupport@symmetric.co.jpからお問い合わせください。

ラウンドアバウト設定ファイル

2-1 roundabout.confの編集

(インストール手順書通りに各ファイルを配置した場合、編集不要です。)

```
#モジュールを配置したパスを指定
LoadModule ralc_module modules/mod_ralc.so
LoadModule raic_module modules/mod_raic.so

<IfModule mod_ralc.c>
#ライセンスファイルパス指定
    RALCLicenseFile      /var/roundabout/conf/roundabout.lic
#端末情報ファイルパス指定
    RALCTerminfoFile     /var/roundabout/conf/terminfo.csv
#ImageMagick インストールディレクトリパス指定
    RALCImageMagickHome /usr
#キャッシュディレクトリパス指定
    RALCCacheRoot        /var/roundabout/cache
#作業ディレクトリパス指定
    RALCWorkRoot          /var/roundabout/work
#従量課金ログファイルパス指定(従量課金ライセンスをご利用の場合のみ)
    #RALCChargeLogFile   /var/roundabout/logs/charge.log
#従量課金 ID 指定(従量課金ライセンスをご利用の場合のみ)
    #RALCChargeId        server01

#各キャリア絵文字画像を配置しているパス指定
Alias /glyph/ "/var/roundabout/glyph/"

#glyph ディレクトリのアクセス設定
    <Directory "/var/roundabout/glyph/">
        Options None
        AllowOverride None
        Order allow,deny
        Allow from all
    </Directory>
```

```
#変換シートの自動リロード設定
    RALCAutoReload      Off
</IfModule>

<IfModule mod_raic.c>
#ライセンスファイルパス指定
    RAICLicenseFile      /var/roundabout/conf/roundabout.lic
#ImageMagick インストールディレクトリパス指定
    RAICImageMagickHome /usr
#キャッシュディレクトリパス指定
    RAICCacheRoot        /var/roundabout/cache
#作業ディレクトリパス指定
    RAICWorkRoot          /var/roundabout/work
#従量課金ログファイルパス指定(従量課金ライセンスをご利用の場合のみ)
    #RAICChargeLogFile    /var/roundabout/logs/charge.log
#従量課金 ID 指定(従量課金ライセンスをご利用の場合のみ)
    #RAICChargeId         server01
</IfModule>
```

以上でroundabout.confの設定は完了です

次にroundabout-vhost.confを編集します。

2-2 roundabout-vhost.confを編集

(インストール手順書通りに各ファイルを配置した場合、編集不要です。)

```
<IfModule mod_ralc.c>
#端末情報ヘッダ設定のインクルード
    Include "conf/roundabout/terminfo-headers.conf"

    <Location "/">
        SetOutputFilter RALC
#ラウンドアバウト全機能オン・オフ設定
        RALCEngine On
#変換用パラメータ追記オン・オフ設定
        RALCImage On
#PI 処理オン・オフ設定
        RALCPi On
#変換シートパス指定
        RALCConversionSheetFile /var/roundabout/conf/conversion.csv
#絵文字変換シートパス指定
        RALCGlyphConversionSheetFile /var/roundabout/conf/glyph-conversion.csv
#端末グループ設定ファイル指定
        RALCDeviceGroupFile /var/roundabout/conf/device-group.conf
#非対応端末設定ファイル指定
        RALCUnsupportFile /var/roundabout/conf/unsupport.csv
#非対応端末リダイレクト設定
        RALCUnsupportUrl None
#キャラクタエンコーディング指定
        RALCSourceEncoding Shift_JIS
#スペース変換オン・オフ指定
        RALCSpacerImage Off
#JPEG サイズ縮小(任意)
        RALCReduceJpeg On
```

#変換丸め幅設定(初期インストール時は設定の必要はありません。)

```
RALCImageResizeGroup 1-119    96
RALCImageResizeGroup 120-200 120
RALCImageResizeGroup 201-221 200
RALCImageResizeGroup 222-319 240
RALCImageResizeGroup 320-419 320
RALCImageResizeGroup 420-640 480
RALCImageResizeGroup 641-999 640
```

#自動スケールのオン・オフ切替設定(初期インストール時は設定の必要はありません。)

```
RALCImageAutoScaleGif On
RALCImageAutoScalePng On
RALCImageAutoScaleJpeg On
```

#VGA 画像の QVGA アジャスト機能

```
RALCAdjustImageScale  On
```

#画面横幅に対する自動スケール比率設定(初期インストール時は設定の必要はありません。)

for VGA images

```
RALCImageScale 1-95      0.200
RALCImageScale 96-119    0.200
RALCImageScale 120-224   0.250
RALCImageScale 225-227   0.469
RALCImageScale 228-229   0.475
RALCImageScale 230-231   0.480
RALCImageScale 232-233   0.484
RALCImageScale 234-239   0.488
RALCImageScale 240-319   0.500
RALCImageScale 320-467   0.667
RALCImageScale 468-479   0.975
RALCImageScale 480-9999 1.000
```

```
#画面横幅に対する自動スケール比率設定(初期インストール時無効です。)
# for QVGA images
#      RALCImageScale 1-95      0.400
#      RALCImageScale 96-119    0.400
#      RALCImageScale 120-224   0.500
#      RALCImageScale 225-227   0.938
#      RALCImageScale 228-229   0.950
#      RALCImageScale 230-231   0.960
#      RALCImageScale 232-233   0.968
#      RALCImageScale 234-239   0.976
#      RALCImageScale 240-319   1.000
#      RALCImageScale 320-467   1.334
#      RALCImageScale 468-479   1.950
#      RALCImageScale 480-9999 2.000

#画像自動選択のブラウザ横幅指定と接尾文字指定(初期インストール時は設定の必要はありません。)
      RALCImgFileDispatch 1-139    _XS
      RALCImgFileDispatch 140-219  _S
      RALCImgFileDispatch 220-399  _M
      RALCImgFileDispatch 400-799  _L
      RALCImgFileDispatch 800-3000 _XL

#キャッシュサイズオーバー時のリダイレクト先 URL(任意)
#      RALCHtmlSizeOverUrl http://example.jp/size-error.html

#外部画像のデフォルトパスとサイズ指定(任意)
#      RALCImgReserveSize http://example.jp/foo.gif 5120

#外部 Flash デフォルトパスとサイズ指定(任意)
#      RALCObjectReserveSize http://example.jp/bar.swf 10240

#画像サーバーのローカルマッピングパスを設定する(任意)
#      RALCImageServer img1.example.jp /mnt/img1/htdocs
      </Location>
```

```

    <Location "/terminfo/reload">
#端末情報ファイルリロードハンドラ
    SetHandler ralc-terminfo-reload
    Order Deny,Allow
    Deny from all
    Allow from 127.0.0.1
    </Location>

#変換後のフォーマットを指定するパラメータ名の指定(編集不要)
    RALCRAICParamFormat          f
#変換後の画像ファイルサイズを指定するパラメータ名の指定(編集不要)
    RALCRAICParamSize            s
#変換後の画像横ピクセル数を指定するパラメータ名の指定(編集不要)
    RALCRAICParamWidth           w
#変換後のスペーサー画像を使用するか指定するパラメータ名の指定(編集不要)
    RALCRAICParamSpacer          p
</IfModule>

<IfModule mod_raic.c>
#変換後のフォーマットを指定するパラメータ名の指定(編集不要)
    RAICParamFormat              f
#変換後の画像ファイルサイズを指定するパラメータ名の指定(編集不要)
    RAICParamSize                s
#変換後の画像横ピクセル数を指定するパラメータ名の指定(編集不要)
    RAICParamWidth               w
#変換後のスペーサー画像を使用するか指定するパラメータ名の指定(編集不要)
    RAICParamSpacer              p

#画像変換対象となる画像のファイルサイズの上限[バイト]
    RAICMaxImageSize             204800
#画像変換対象となる画像の縦ピクセル数・横ピクセル数の上限[ピクセル]
    RAICMaxImagePixel            1280
#一定時間内に画像変換が完了しなかった場合、再変換を行うまでの時間[秒]
    RAICRetryTime                 60

```



```
<Location "/">  
#画像変換ハンドラ  
    AddHandler raic .jpg .jpeg .gif .png  
</Location>  
</IfModule>
```

以上でroundabout-vhost.confの設定は完了です。

※設定ファイルの詳細については同梱しているApache設定リファレンスを参照ください。